



Gemini Gem から スキルへの移行ガイド

Gemini の Gem からスキルへの移行、Google Classroom やサードパーティの学習管理システムにおける各種 AI ツールの活用について

目次

パート1

Gemini アプリでのスキル活用術

Gem についてはよくご存じかもしれませんが、ここでは、スキルについて知っておくべきポイントをご紹介します。

1. 概要と主な機能
2. スキルの作成とトリガー
3. カスタムスキルの設定
4. 活用事例

パート2

Gemini アプリでの Gem からスキルへの移行

変更内容とスケジュールをご確認いただけます。

5. スキルと Gem の対照比較
6. マイルストーンとよくある質問

パート3

Google Classroom における Gem から新しい教師主導型 AI への進化

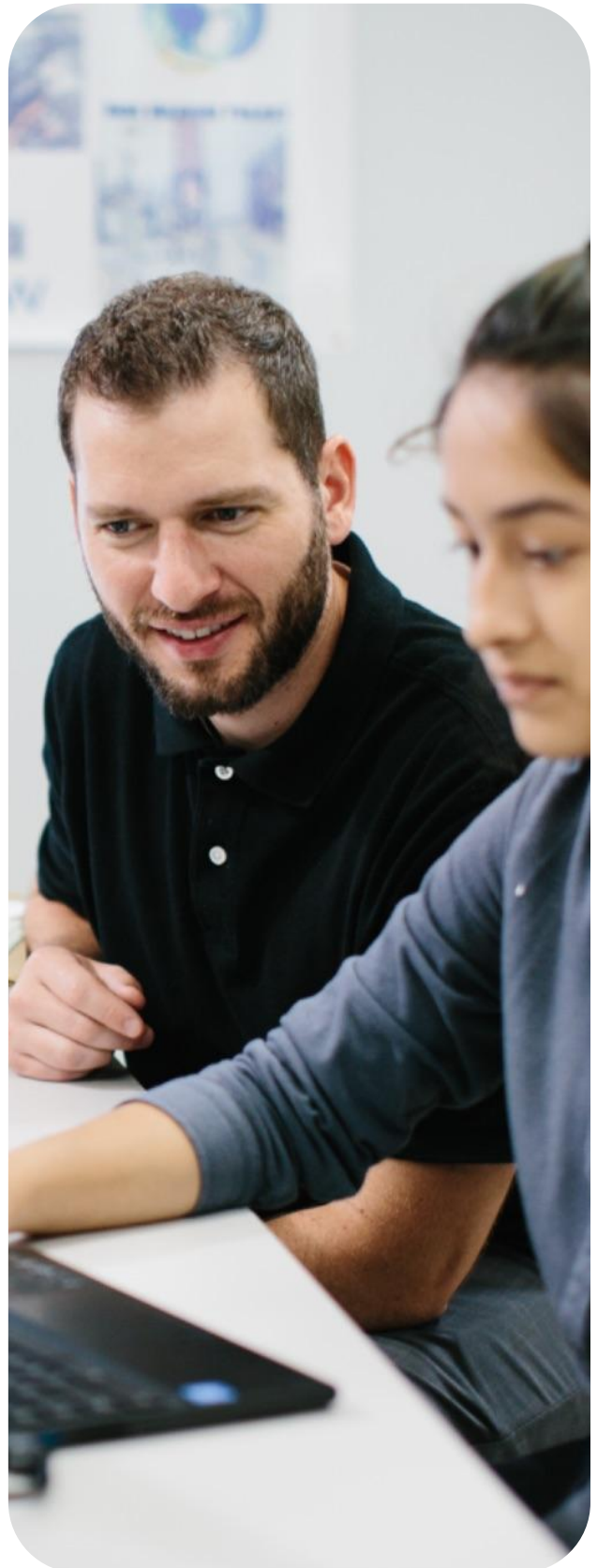
Google Classroom をご利用中の皆さま向けに、Gem 以外の新しい AI 機能をご紹介します。

7. 教師主導型 AI ツールによる生徒の学習支援

パート4

Gemini LTI™ における教師主導型 AI の次なる一歩

Gemini LTI™ をご利用中の皆さま向けに、Gem 以外の新しい AI 機能をご紹介します。



Gemini アプリでの スキル活用術

Gemini アプリでは、Gem からスキルへの移行が進んでおり、あらゆる年齢の教職員や生徒に向けて近日中に提供される予定です。



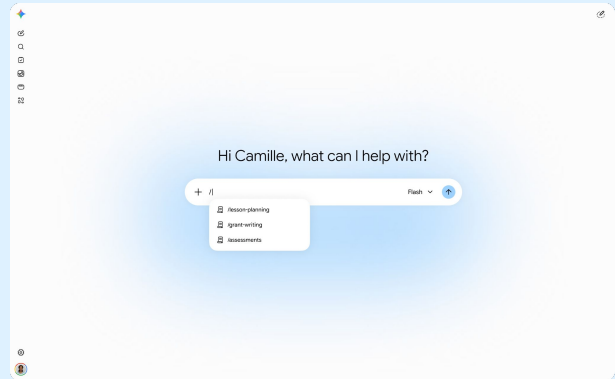
Gemini のスキルで 繰り返し作業を効率化

スキルは、Gem と同様にカスタムできる再利用可能な指示です。スキルを活用すれば、Gemini に自分と同じように繰り返し作業を処理させることができるため、毎回プロンプトをゼロから作成する必要がなくなります。さらに、スキルにはより便利な機能も追加されています。



スキル: Gemini をより柔軟に カスタマイズ

コースのシラバスや週刊ニュースレターの作成など、スキルは Gem をより柔軟に進化させた機能として役立ちます。トーン、教育基準、書式をメインの Gemini チャットに直接組み込んでシームレスに利用できるほか、会話から直接新しいスキルの作成や改良を Gemini に依頼することも可能です。



新機能



あらゆるチャットで スキルを活用

コンテキストを切り替えることなく、あらゆる会話に専門的なガイダンスを組み込むことができます。アクティブなチャットで「」と入力するだけで、スキルを呼び出せます。



コンテキストアウェアな トリガー

Gemini がニーズを先読みします。有効にしたスキルは、プロンプトのコンテキストと意図に基づいて自動的に適用されます。



複数のスキルを同時に活用

1つのチャット内で複数のスキルを活用することで、複雑なタスクに対応できます。たとえば、[/citation-checker](#) スキルと [/journal-style-guide](#) スキルを作成すれば、研究論文の草稿を一度でレビューすることが可能です。

スキル活用ガイド

A [スキル] ページに移動する

スキルには、左側のサイドバーの下部にある[設定]メニューから簡単にアクセスできます。スキル管理ページは、スキルを1か所で確認し、簡単に編集したり新しいスキルを作成したりできるコントロールセンターのような場所です。

B 独自のニーズに合わせてカスタムスキルを作成する

[スキル] ページでは、Gemini のサポートを活用してスキルを作成したり、事前入力されたテンプレートや空白のテンプレートを利用してスキルを作成したり、skill.md ファイルをアップロードしたりできます。チャットから作成を始めることも可能です。



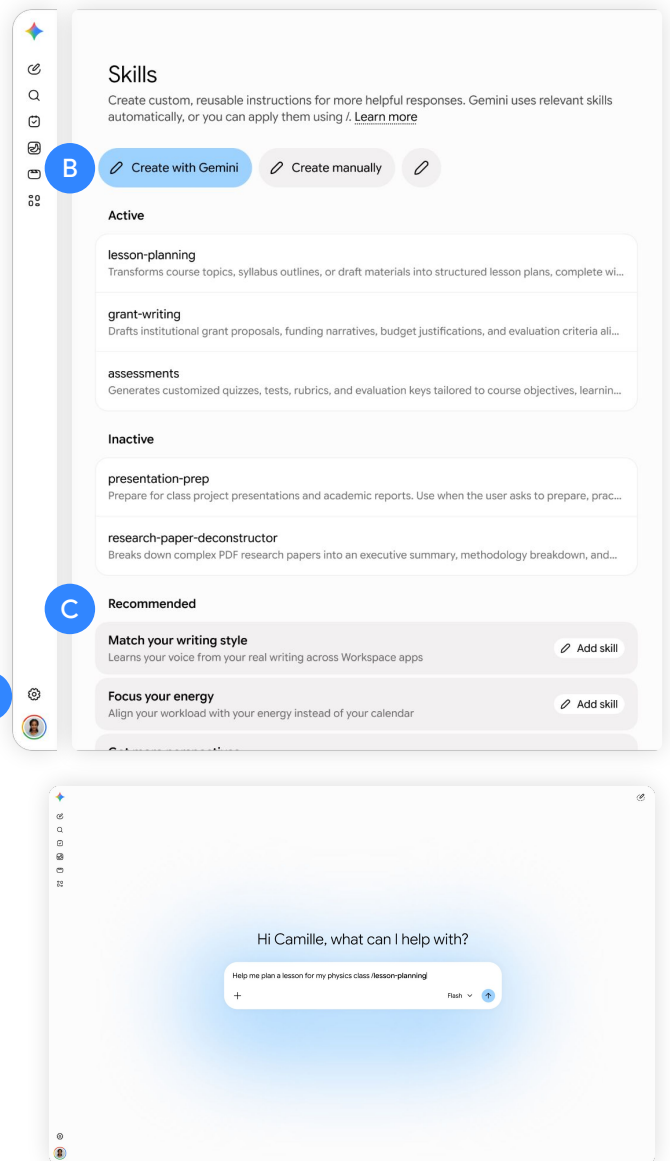
ヒント: スキルの指示内で他のスキルを参照することで、より複雑なワークフローを構築できます。

C おすすめのスキルにアクセスする

Gemini には、すぐに使い始められるよう、あらかじめおすすめスキルが用意されています。たとえば、[/match-your-writing-style](#) スキルは、Google Workspace アプリでの実際の文章から、ユーザーの文体を学習します。

チャットでスキルをトリガーする

Gemini にスキルの使用をリクエストするには、アクティブなチャットウィンドウに直接「/」を入力し、プルダウンメニューからスキルを選択します。また、タスクのコンテキストや意図に基づいて、有効化されているスキルを Gemini が自動的に使用することもあります。



独自のスキルを作成する 4 つの方法

01 ゼロから作成

[手動で作成] をクリックして、名前、説明、カスタム指示を最初から設定します。

02 Gemini で作成

[Gemini で作成] をクリックし、Gemini のガイドに従ってスキルを段階的に設計します。

03 テンプレートをカスタマイズ

[おすすめのスキル] を参照し、細部を調整して自分好みに仕上げます。

04 ファイルをアップロード

.md 形式の指示ファイル、書式なしテキスト、PDF、画像、またはこれらを組み合わせて Gemini に直接アップロードし、カスタムスキルをすばやく作成します。

Gemini アプリ (gemini.google.com) でスキルを使用しましょう

効果的なスキルの設定方法

Gemini が意図どおりタスクを実行できるよう、Gemini が従うべき具体的な指示をまとめたスキルを作成しましょう。スキルを最大限に活用するためのベスト プラクティスとヒントをご紹介します。

タスクの目標

繰り返し行うタスクを想定する

1 回限りのタスクではなく、一般的なワークフローに焦点を当て、構築したスキルを最大限に活用できるようにします。

例:

10 月の保護者向けニュースレター用のスキルではなく、月刊ニュースレター用のスキルを作成する。

名前と説明

明確で行動を促すような名前と説明を記述する

スキル名には、小文字の動詞を使用します (例 /build-lab-rubric)。説明を作成する際は、Gemini がスキルを使用するタイミングを判断できるように、「...ときに使用」という文言を含めます。

注意点: Gemini は、名前と説明のみを頼りにスキルをトリガーします。混乱を避けるため、説明は具体的にし、重複するタスクには複数のスキルを作成しないようにしてください。また、「...ときに使用」の文言には必ず具体的な例を添えてください。

例:

/build-lab-rubric-「科学実験や実習レポート用に、構造化された基準ベースの評価尺度と採点ガイドを生成して。『実験用ルーブリックを作成して』、『実験の採点ガイドを作成して』、『実技評価基準を設定して』などと私が指示したときに使用して。」

指示

出力の形式を定義する

指示の中に、レイアウト、チェックリスト、形式の指定を含めることで、配布資料、指導案、ルーブリックなどが事前にフォーマットされた状態で出力され、すぐに使用できるようになります。

例:

「回答は常に、1) 目標、2) 15 分間のアクティビティ、3) 3 問の理解度チェック、という形式にしてください。」

すべきでないことを明確にする

よくある落とし穴や避けるべき注意点の簡単なリストを指示に直接含めることで、追加の編集をしなくても Gemini を教室の基準に合わせることができます。

例:

「1 文を 15 語以内に抑え、英語学習者向けに文の書き出しを必ず含めて。複雑な専門用語は使用しないで。」

不足情報の扱いを Gemini に指示する

推測させるのではなく、日付や背景情報が不足している場合は一度立ち止まって質問するよう Gemini に指示します。

例:

「学年レベルを伝えるのを忘れた場合は、授業資料を生成する前に私に尋ねて。」

教育機関における Gemini のスキル活用事例



教育者向け活用法

- **指導案の作成:**
カリキュラムと教育基準に沿った包括的な指導案をすばやく作成します。
- **生徒別の対応:**
課題のサポートを即座に作成し、多様な学習レベルに応じた難易度別の練習問題を生成することで、準備時間を短縮します。
- **形成的評価:**
授業の教材や講義スライド、PDF を練習問題に変換し、理解度を確認できます。



生徒向け活用法

- **試験対策:**
授業のノートをもとに、個々の学習スタイルに適した練習問題やフラッシュカード、アクティブリコール用のプロンプトに変換します。
- **複雑なトピックの簡素化:**
難解な学術論文や難しい概念を、わかりやすい要約や身近な例えを用いて説明します。
- **小論文のフィードバック:**
論文の説得力や論理展開、文章構成について、迅速かつ的確なフィードバックを提供します。
- **インターンシップ対策:**
履歴書やカバーレターのブラッシュアップに加えて、志望する業界や職種に合わせた面接練習を行います。

Gemini アプリ (gemini.google.com) で
スキルを活用しましょう

教育機関における Gemini のスキル活用事例



研究者向け活用法

- **査読とジャーナルレビュー:**
参考文献の監査や引用の確認を行い、対象ジャーナルのスタイルガイドに則した厳格な出版ガイドラインを適用します。
- **助成金申請書の作成:**
特定の規則や提出基準に準拠した、コンプライアンスを満たす資金調達提案書を事前に作成します。
- **文献レビュー:**
難解な学術論文を統合し、実験フレームワークを抽出して、重要な知見を1回で要約します。



管理者向け活用法

- **教育機関のコミュニケーション:**
公式通知、メモ、キャンパスの最新情報などの下書きを作成します。適切な用語、法的免責条項、ポリシー規則が自動的に組み込まれます。
- **イベントの計画:**
キャンパスでの講義、会議、式典などの複雑なスケジュール調整、ベンダーとのやり取り、進行表の作成を迅速に行います。
- **報告書の作成:**
アンケートの未加工のフィードバックや詳細な部門報告書を、迅速な意思決定に役立つ、明確で幹部への報告に適した形式のブリーフィング資料に変換します。

Gemini アプリ (gemini.google.com) で
スキルを活用しましょう

複数のスキルを組み合わせてワークフローをさらに効率化

生の調査データを要約ツールに読み込ませ、下書き作成ツールや引用チェッカーへつなげるなど、複数のスキルを組み合わせて複雑なタスクをステップごとに処理していきましょう。その際は、すべての確認プロセスにおいて、ご自身の専門知識が重要な軸となります。

パート 2

Gemini での Gem からスキル への移行

スムーズな移行を実現するためのヒント



Gemini における Gem とスキルの比較

スキルは、強力なカスタム指示を日常の会話に直接組み込み、Gem の機能をインラインのワークフローとして実現します。

	Gem	スキル
設定と利用開始		
新しい Gem やスキルを作成する	Gem 管理ページからのみ	チャットまたはスキル管理ページから
Gem やスキルを使用する	Gem 管理ページからのみ	チャットで「/」を入力する
モバイルで作成、編集する	✖	✔
指示を作成する	手動で指示を記述するか、Gemini を使用して指示を書き換える	手動で作成するか、Gemini を活用して共同作成する
日常業務の遂行		
複数を同時に使用する	✖	✔
ファイルをナレッジソースとして添付する	✔	✔ *
タスクのコンテキストや意図に基づいて自動的に使用する	✖	✔
保存と共有		
コピーを作成する	✔	✖ ダウンロードし、再アップロードして、新しいスキルとしてカスタマイズする
Google ドライブで共有する	✔ * 近日提供予定	✔ * 近日提供予定

*PDF と画像の添付ファイルは現時点でご利用いただけます。ドライブ ファイルと Gemini Notebook は近日中に対応予定です。

主要なマイルストーン

Gemini アプリの Gem からスキルへの移行にあたり、把握しておくべき重要なスケジュールです。

2026 年 9 月 30 日

Gemini アプリで、スキルが個人アカウント向けにリリースされます。教育機関でも近日中にご利用いただけるようになります。

- 教育機関のユーザーは、引き続き Gemini アプリ、Google Classroom、Gemini LTI™ で Gem の作成と利用が可能です。

2026 年 10 月 13 日

Gemini アプリで、スキルが教育機関のユーザー向けにリリースされます。ユーザーは引き続き Gem の作成と利用が可能です。

- 個人の Google アカウントでは、Gem の作成や編集ができなくなります。

2026 年 11 月 17 日

個人の Google アカウントを使用しているユーザーの場合、Gem が自動的にスキルに移行されます。

- Gem のエントリ ポイントが、教育機関のユーザー向けの設定メニューに移動します。ユーザーは引き続き Gem の作成と利用が可能です。

2027 年 6 月 1 日以降

教育機関のユーザーの場合、Gem が自動的にスキルに移行されます。

- Gemini アプリ、Classroom、Gemini LTI™ では Gem を利用できなくなりました。

よくある質問

既存の Gem は自動的にスキルに変換されますか？

Gemini アプリで作成された Gem は、2027 年 6 月 1 日以降、自動的にスキルに移行されます。ただし Google Classroom や Gemini LTI™ 経由のサードパーティの学習管理システムで作成されたものは、それらのツール内で直接スキルを利用できないため、自動移行の対象外となります。そうした製品において、Gem から他の教師手動型の AI ツールへ移行する方法については、この後のページでご案内します。

Gemini で Gem をスキルとして再作成する最も簡単な方法は何ですか？

2 つのブラウザタブを並べて開きます。

1. 詳細をコピー: Gem のタイトル、説明、カスタム指示をコピーし、新しいスキルに貼り付けます。
2. ファイルをアップロード: 新しいスキルに、参照ファイルやカリキュラム資料を改めて添付します。
3. 再共有: 元の Gem を同僚や生徒と共有していた場合は、新しいスキルも共有します。

なお、2027 年 6 月 1 日までお待ちいただける場合は、Gem が自動的にスキルに変換されます。

Gem がスキルに移行した後は、すぐに使い始められますか？

Gem は自動的にドラフトスキルに変換されます。内容を確認して有効にするだけで、どのチャットでもご利用いただけるようになります。

Gem がスキルに変換された後、Gem との過去のチャットはどうなりますか？

Gem とのこれまでのチャットは、Gemini のメインのチャット履歴からご確認いただけます。

Google がこのような変更を行うのはなぜですか？

Gem からスキルへのアップグレードを行う理由は、スキルの方がより堅牢な機能を提供できるからです。具体的には、スキルはチャット内で簡単に操作できるだけでなく、1 つのチャットで複数のスキルを併用して複雑なタスクをこなすことが可能です。また、スキルは反復作業の処理手順を AI ツールに教える再利用可能なカスタム機能として、業界標準になりつつあります。

Google Classroom における Gem から 新しい教師主導型 AI への進化

Classroom における Gem の段階的な提供終了に伴い、
指導タスクをサポートする新しい組み込み機能が導入されます。



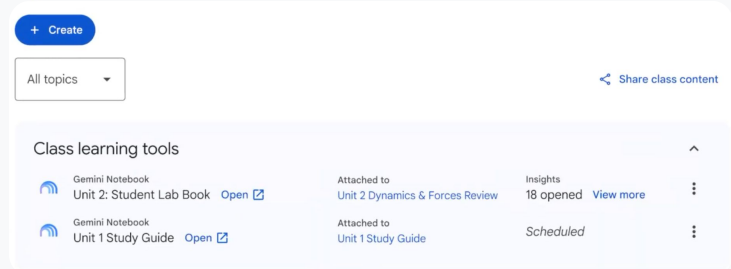
教師が主導する、 生徒一人ひとりに 合わせた学びの最適化

教育者がAIの活用を主導することで、確かな教育成果がもたらされます。Google Classroomでは、教師がリードし、カリキュラムに準拠した実用的な分析情報を活用することで、新しい学習体験を提供します。

教育者が主導権を握る

学習内容を生徒に合わせて個別化し、拡張するツールで、指導目標を引き上げる。

インタラクティブな学習ガイドの作成、アダプティブなテスト対策の実施、指導目標に基づくリアルタイムの宿題サポートの提供などが可能です。これらは課題に直接添付したり、[授業] タブに固定したりできます。



カリキュラムに沿った内容

すべてのツールを教材、指導目標、生徒に関連付ける。

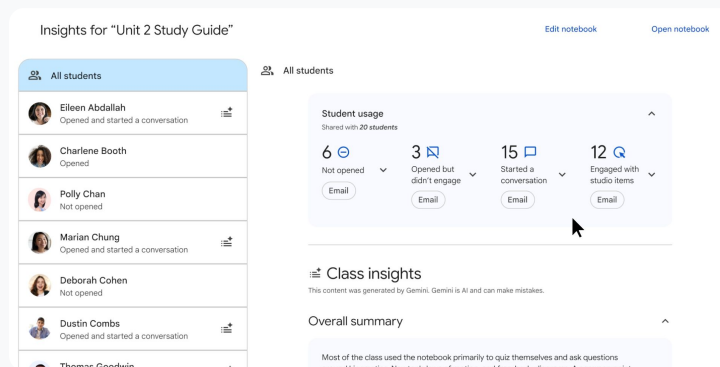
Classroom のトピックやGoogleドライブから特定のファイルをAIアクティビティに直接反映させることで、コンテンツの関連性と正確性を保つことができます。



実用的な分析情報を提供

クラス全体の状況を明確かつ一貫して把握する。

生徒個人およびクラス全体において、教師主導のAIアクティビティの状況を明確に可視化し、日々の指導に役立てることができます。課題から直接アクセスが可能です。

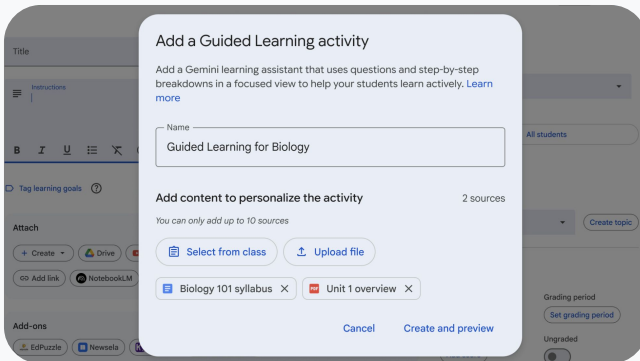


Google Classroom では、今後数か月以内に教師主導のAIアクティビティに関するインサイト機能が順次導入される予定です。まずはGemini Notebook および Gemini のガイド付き学習から開始されます。

学習体験の規模拡大と個別最適化を実現する2つの教師主導型 AI ツール

さまざまな AI ツールから自由を選択して、ワークフローをカスタマイズできます。教育者の視点を取り入れて開発された新しい授業ツールを活用して、日々のワークフローを最適化しましょう。

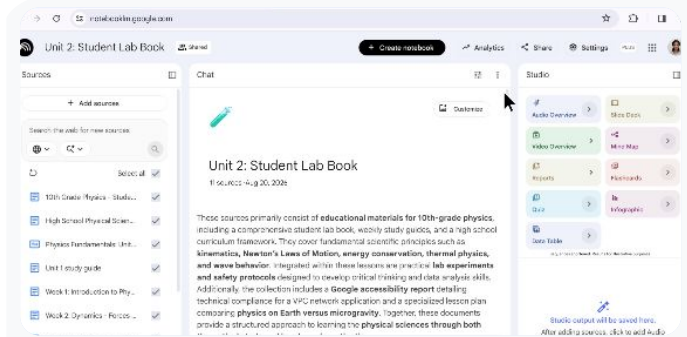
1



Gemini のガイド付き学習

教師が提供する教材に集中できる環境で生徒の能動的な学びを促すと同時に、教育者がその学習進捗をしっかりと把握できるようにします。

2



Gemini Notebook

アップロードされた教材をもとに、静的なカリキュラム ファイルを、インタラクティブなマルチモーダル学習ツール(フラッシュカード、マインドマップ、音声解説、学習ガイドなど)に変換します。



学習向けにファインチューニングされた AI で 生徒の成長をサポート



Gemini: 学習科学に 基づくモデル

教育分野の専門家との共同開発によって誕生した LearnLM は、学習科学に基づき、学習向けにファインチューニングされたモデル群を開発するための研究プロジェクトとしてスタートしました。

現在、その機能と進歩は Gemini モデルに直接組み込まれ、より効果的な学習効果の向上を支えています。



アクティブラーニングを促す
学習者自身による知識の習得と体系化
をサポートする。



認知負荷を管理する
関連情報を体系的に提示する。



メタ認知を深める
学習計画を立て、進捗をモニタリングし、
学習者による達成度の振り返りを
支援する。



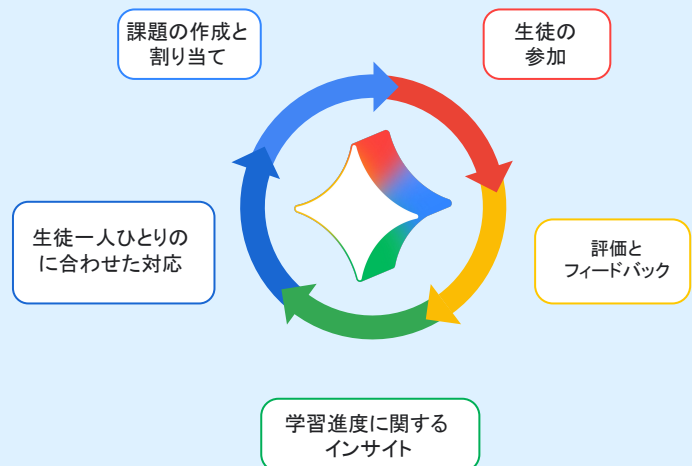
好奇心を刺激する
学習の全プロセスを通じて学ぶ意欲を
高める。



学習者のニーズに適応する
学習者の目標やニーズに応じて動的
に調整する。

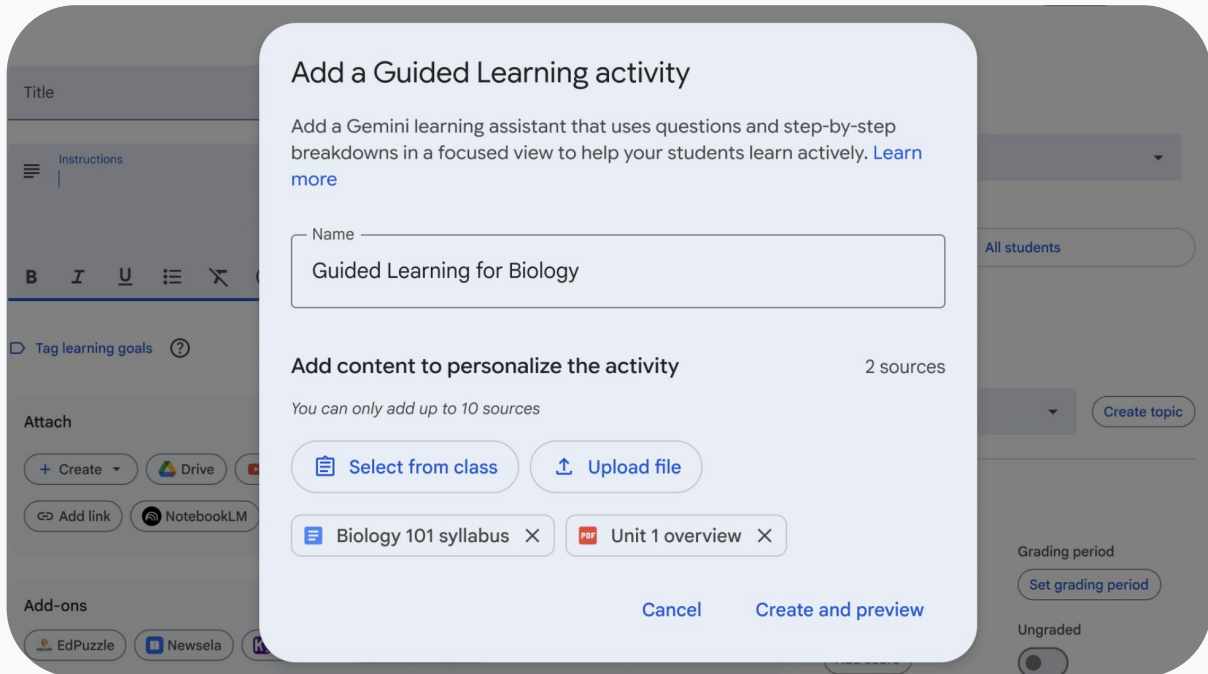
Gemini で Google Classroom での指導と 学習を強化

Google Classroom の専用 AI ツールは、あらゆる段階で教育者をサポートします。このツールを活用することで、一人ひとりに合わせた指導の実施や学習進捗の追跡が可能になり、自身を持って生徒に向き合うことができます。



Classroom のガイド付き学習

Google Classroom のガイド付き学習*は、学習に特化したツールです。教師は授業内容に基づいた AI 学習体験を作成し、生徒の概念探究やその実践をサポートできます。また、生徒の学習状況をしっかりと把握し、管理することが可能です。



Google Classroom で近日提供予定。

会話形式による段階的なサポートを通じて、 生徒の能動的な学習と深い理解を促進

主な機能

-  カリキュラムに沿った足場かけ Classroom の教材を選択して、授業内容に合わせた段階的なサポートを提供します。直接的な答えは提示しません。
-  集中ビュー: 生徒が Classroom でガイド付き学習を開くと、サイドナビゲーションが自動的に非表示になり、新しいチャットが無効化されてガイド付き学習モードが維持されます。教師が設定したソース資料を、生徒が編集することはできません。
-  リアルタイムの実用的な分析情報 クラスのダッシュボードやエンゲージメントの傾向、チャットの文字起こしから生徒の学習進捗を把握し、生徒のつまづきを迅速に発見してサポートできます。

教育者にとってのメリット

-  指導時間の確保 生徒の自主学習中に生じる一般的な質問にはツールが対応するため、教師は 1 対 1 のサポートが必要な生徒の指導に専念できます。
-  生産的な試行錯誤の促進 生徒がすぐに答えを見るのではなく、批判的思考を養い、複数のステップからなる問題を解決するよう導きます。
-  大規模な個別最適化学習 ペースや理解度が異なる生徒一人ひとりに合わせたサポートを実現します。

教育研究に基づき、確実な学習効果を発揮するよう設計

ガイド付き学習は、高度な AI モデルと実績のある教育研究を統合して、生徒の知的好奇心を喚起し、学習成果を向上させます。

LearnLM の研究に基づく設計

ガイド付き学習は、教育学的な根拠に基づき、直接的な答えを提示するよりも、理解を深めることを優先するよう特別に調整されています。これは、長年にわたる LearnLM の取り組みと研究の成果です。

- ✓ 能動的な学習の促進：
このモデルは、生徒に自らの考えを共有し、有意義な回答を導くよう促します。努力を通じて自信を築き、認知的な関与と生産的な試行錯誤を促進します。
- ✓ 段階的なサポートの提供：
アシスタントは、受動的に回答を提供するのではなく、質問を通じて複雑な課題を細分化して、段階的なヒントや的確なフィードバックを提供します。
- 好奇心の喚起：
- ✓ 生徒の主体性や興味、探究心を高め、自己主導型の学習や実社会とのつながりを通じて、生徒の積極的な思考と探求を継続的に促します。
- ランダム化比較試験 (RCT) による厳格な検証：
- ✓ ガイド付き学習が学習成果をどのように高めるかを測定、評価し、改善していくために、Google は RCT を重ねて、その技術的な研究成果を公開しています。

ガイド付き学習は、学習成果を高めるだけでなく、生徒の学習意欲を引き出すことも実証されています



低所得および中所得国の生徒が、ガイド付き学習を 8 週間利用して達成した学習進度の効果
(標準偏差 +0.26)



生徒からのメッセージのうち、学習課題に関連する内容であった割合。これは、生徒が答えを安易に求めるのではなく、理解を深めるためにガイド付き学習を使用していたことを示しています。

「ほとんどの子どもたちが、数学は難しいと言います。でも Gemini を導入してからはアプリが一つ一つ教えてくれるので、今ではほとんどの生徒が数学を好きになっています。」

ガイド付き学習を日々の指導に取り入れる 6つの方法

さまざまな活動や授業構成にガイド付き学習を取り入れることで、生徒の主体的な試行錯誤を引き出し、自信を育むとともに、今後の指導に役立てることができます。

1

STEM での問題解決を段階的にサポート

数学や科学における複数ステップの問題に、ガイド付き学習を活用します。答えをただ提示するのではなく、適切な質問を投げかけることで生徒を一步步ガイドします。練習の途中でつまづいたときも、段階的なヒントを通じてサポートします。

2

文章作成前の準備や論証を強化

小論文、プレゼンテーション、ディベートなどにおいて、ガイド付き学習を対話型の思考パートナーとして活用できます。生徒は仮説の検証、論文の主張の洗練、構成案の整理を行い、本格的な執筆前にアイデアをしっかりと練り上げることが可能です。

3

探求を深め、概念の理解を拡張

自由度の高い探究活動や発展的な課題において、ガイド付き学習を使用します。生徒は自分のペースで基本的な概念への理解を深めながら、教科の枠を超えた有意義なつながりを発見することができます。

4

グループワークや能動的学習を構成

「教師が手本を見せ、生徒と教師と一緒に実践し、最後は自分でやってみる」という授業のモデルにガイド付き学習を組み込みます。個人やグループでのグループワーク中に、会話型のサポート付きで複雑な問題を提示します。リアルタイムで得られる分析情報を確認しながら、クラス全体のディスカッションを導くことができます。

5

教室外でもサポートを提供

宿題やリモート学習中にオンデマンドの個別指導アシスタントとしてガイド付き学習を提供し、通常の授業時間外でも、柔軟かつ段階的なサポートを実現します。

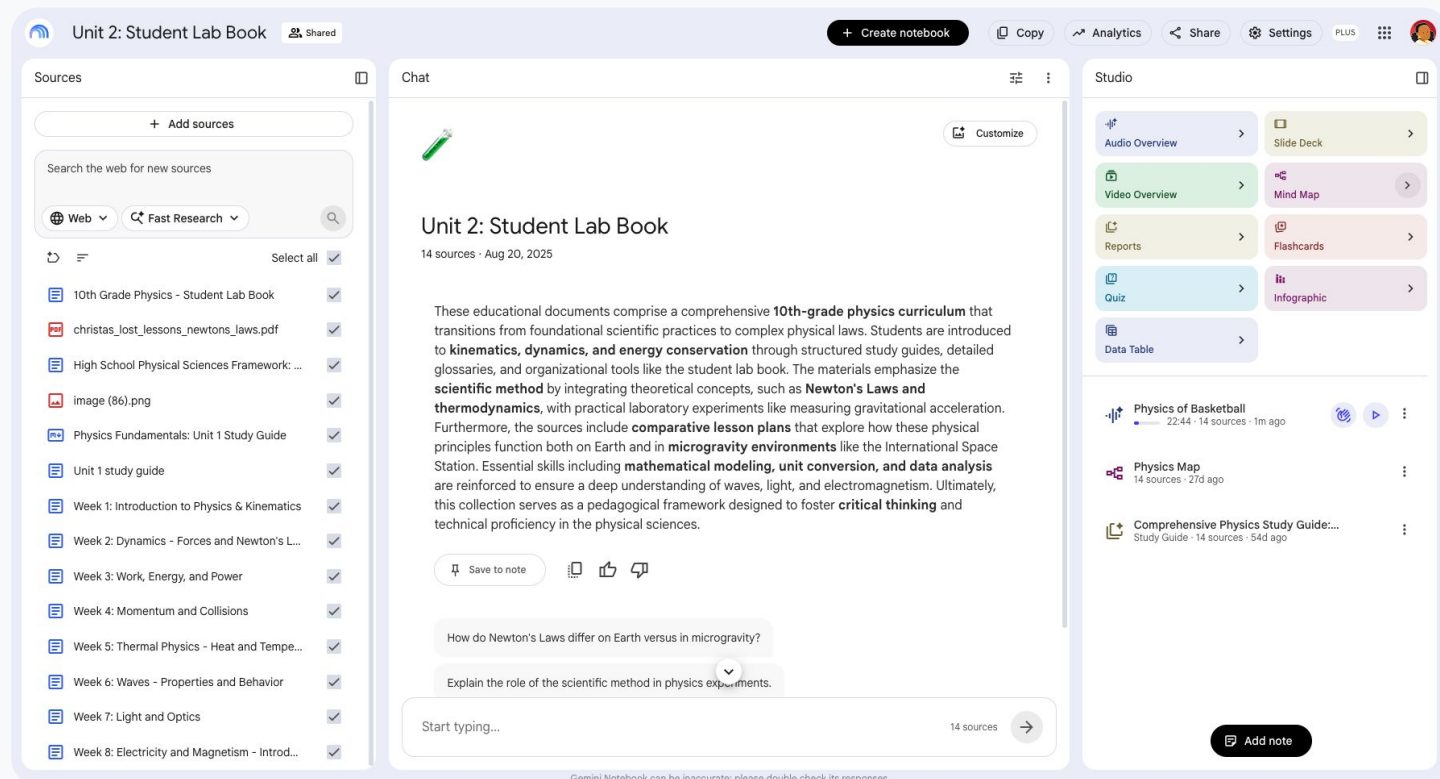
6

振り返りをサポートし、次の指導に活用

授業の最後に、簡単な振り返りアクティビティを実施します。生徒一人ひとりの回答やクラス全体の課題に関する分析情報を確認して、理解における誤りを見つけ出し、翌日の授業に向けた的確な指導計画を立てることができます。

Classroom の Gemini Notebook

PDF、Google ドキュメント、スライド、画像、動画といった静的なカリキュラム ファイルを、インタラクティブな学習ガイド、デジタル フラッシュカード、視覚的なマインドマップ、ポッドキャスト形式の音声解説へと変換します。



授業資料をマルチモーダルな学習支援ツールに変換

主な機能

クラスに合わせてカスタマイズされた
AI 学習パートナー

-  アップロードした教材のみをベースとして、柔軟かつマルチモーダルな学習ツールを生成します。
-  教師はリアルタイムの学習状況に関する分析情報*により、どの生徒が割り当てられたツールを開いて取り組んでいるかを簡単に把握できます。
-  生徒からの Q&A が教材に紐づく、管理された閲覧専用の環境の中で、コンテンツの正確性と安全性を確保します。

活用方法

生徒のペースに合わせた習得と
重点的な復習をサポート

-  物理学や化学の実験ノートクラス全体で固定し、生徒が実験中に安全規則や実験手順をいつでも確認できるようにします。
-  複雑なトピックに関する研究課題に添付して、厳選された資料から引用付きのエビデンスを生徒が収集できるようにします。
-  テスト対策用のノートブックを提供し、テスト前に単元の語彙の復習や難しい概念の確認を生徒が自主的にできるようにします。

* 近日提供予定

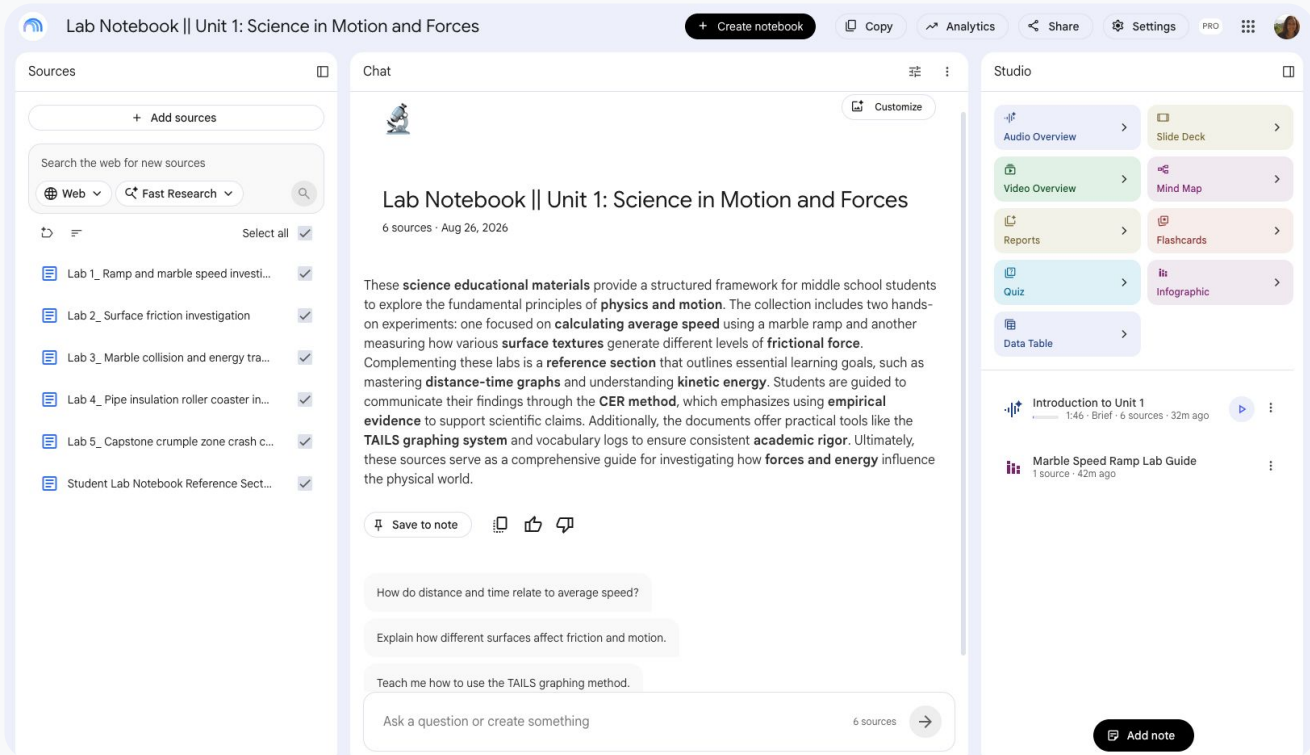
Gemini LTI™ に おける教師主導型 AI の次なる一歩

Gem は順次提供を終了いたしますが、生徒および教育者の皆さまは Canvas by Instructure、PowerSchool Schoology、Moodle を通じて、これまでどおり直接 [Gemini Notebook](#) をご利用いただけます。



Gemini LTI™ の Gemini Notebook

Gemini LTI™ を活用すると、教育者の皆さまは PowerSchool Schoology Learning、Canvas by Instructure、Moodle などから直接、授業教材に基づいたノートブックを Gemini Notebook から簡単に作成し、生徒に割り当てて学習をサポートすることができます。



Gemini の機能を学習管理システムで活用

主な機能

ユーザーの資料のみをベースにした AI で、あらゆる内容を理解

-  手動でアップロードすることなく、学習管理システムから Gemini Notebook にコース教材を自動的に取り込めます。
-  AI の回答と学習教材は、承認済みの教材のみに厳密に紐づいたものとなり、インラインでの出典明記も行われます。
-  生徒は、多様な学習スタイルに合わせて、魅力的な音声解説、インフォグラフィック、学習ガイドなどを自由に作成できます。

活用方法

カリキュラムを設定し、生徒が自分のペースで学習できるようにサポート

-  アップロードした教科書の章や単元のノートから、授業ですぐに使える構造化されたスライドを作成できます。
-  分量の多い単元の読み物教材を、魅力的なポッドキャスト形式の音声解説に変換し、生徒が移動中などでも難解なコース教材を復習できるようにします。
-  複雑な概念を視覚的なマインドマップへと図式化し、試験前に主要なトピック同士の関係性を整理できるようにします。